

# 新潟まち遺産の会

代表者	大倉宏
所在地	〒951-8066 新潟市中央区東堀前通り1番町353 伊藤純一アトリエ内
設立年月日	2004年06月26日
URL	<a href="http://machi-isan.sakura.ne.jp/index.html/">http://machi-isan.sakura.ne.jp/index.html/</a>

## 【設立趣旨】

新潟市は中心部が新たに町建てされてから350年の歴史を持つ湊町です。町にはあたりまえに歴史ある建造物である町屋や街並みが残っているにもかかわらず、新潟は歴史的なものより開発に目を向ける市民が大半でした。開発により古きよきものが失われていく中、新潟地域に残る町屋建築などの歴史的・文化的遺産が、積極的に保存、活用され、次の世代に継承されることで、歴史の感じられる新潟のまちづくりの重要なファクターとして位置付けられていく為の諸活動を目的に会は設立されました。

## 【沿革】

新潟市中央区東厩島町で、道路整備計画により解体の運命にあった町屋の移築支援運動を行った「町屋を生かす会」が、幅広く新潟の歴史的建造物をはじめとする「まち遺産」への啓発活動が必要と考え、発展的に会員制による組織として2004年6月「新潟まち遺産の会」設立。

## 【活動目的】

シンポジウムの開催やまち歩きの企画、まち遺産マップの発行などで、市民に歴史あるものの魅力がまちの魅力を作り出すことへの啓蒙活動を行い、新潟が歴史の感じられる街になることを目的に活動を行っています。

## 【活動内容】

### ■<シンポジウム>

#### □「市民による街並み再生プロジェクト」2005.1.23

村上市で取り組む、町屋を再生プロジェクトによる町並み再生の実例を紹介し、市民によるまちの活性化、町並みの再生について考えるシンポジウムを開催しました。

#### □「欧州浪漫漂う異人池西大畑界隈と洋館付住宅の魅力」2005.4.10

売却により解体の危機にある洋館付住宅の新潟県副知事公舎の保存に向け、大正期から昭和初期にかけ多く建築された洋館付住宅の魅力を、よこはま洋館付住宅を考える会のメンバーをパネリストに迎えシンポジウムを開催しました。

#### □「新潟の湊と堀と町並み 廻船問屋小澤邸周辺と下町の堀」2005.10.9

新潟町建て350年記念シンポジウム第三弾として、廻船問屋として栄えた小澤邸とその周辺に注目し、新潟がかつて湊町として栄えていた時代とそのまちなみに関して考えるシンポジウムを開催しました。

#### □「町屋と民家に住み続ける知恵」2006.11.23

暗い、寒い、といった事を理由に古い町屋がどんどん建て替わられている現在、快適に住まう事の可能性を探り、民家の気密再生の一人者で建築家の安井妙子氏をむかえ「町屋と民家を快適な住環境にする手法・断熱気密補強のすすめ」というタイトルの講演と、現在も町屋民家に住まうパネリストをゲストに迎え「歴史的建造物との上手な付き合い方」の座談会を行い、町屋民家でのライフスタイルに対するの魅力や可能性を探るシンポジウムを開催しました。

#### □「町屋再生の最前線～京町家、新潟の町屋、それぞれの個性を活かして」2007.9.16

全国町並み保存連名の大会を新潟に迎えたことと同時に、京町家再生の最前線と全国の町並み保存の実情を学ぶシンポジウムを開催しました。

#### □「都市の美を考える 町並み・建物・庭園～新潟のガーデンタウン西大畑界隈の今とこれから～」2008.10.26



蔵でのシンポジウム



町屋案内

売却により保存の危機が伝えられる旧齋藤家夏の別邸界隈の西大畑地区の魅力と、旧齋藤家夏の別邸の庭園建物によるまちづくりの可能性を考え、類似する境遇で建物保存を行った代官山朝倉邸と代官山ヒルサイドテラス界隈を参考にするシンポジウムを、代官山ヒルサイドテラスオーナーである朝倉健吾氏を迎え行いました。

### ■<講座>

#### □「町並み保全型まちづくりの理念と手法」2004.10.12

市民向けの連続講座を新潟大学都市計画研究室岡崎准教授により行いました。

### ■<マップ製作>

#### □「NIIGATA MACHIYA MAP 2005」2005.10発行

#### □「まち遺産マップ 異人池・ドッペリ坂界隈」2006.5発行

#### □「NIIGATA MACHIYA MAP 2007」2007.11発行

### ■<まち歩き>

年に2回程度会で作成したマップを手にしてのまち歩きを企画、実施。

### ■<イベント>

□登録文化財のお手伝いを当会でやった聖籠町の商家二宮邸の米蔵で、舞踏公演を文化庁の歴史的建造物の活用のための委嘱事業として行いました。2007.10.21

□料亭・置屋・待合茶屋といった花柳界の建物が並ぶ古町の西新道東新道を中心に撮影会まち歩きを行い、まち歩き後撮影した写真を見ながらプロの写真家より講評を頂きました。2008.6.22

□花街調査の一環としてお座敷体験企画として一般市民を対象に低価格でのお座敷を開催。2009.5.29

### ■<保存運動及び協力>

□「副知事公舎の保存と活用について(お願い)」2005年10月24日付けで新潟県に市民団体4団体と共に要望書を提出。

□「NEXT21」に隣接する超高層ビル計画について(お願い)2005年10月24日付けで新潟市に市民団体2団体と共に要望書を提出。

□「旧齋藤家夏の別邸の邸宅と庭園の保全について(お願い)」2007年9月4日付けで新潟市に市民団体経済団体10団体と共に要望書を提出。その後の保存運動に会として協力。

### ■<会報の発行>

□活動状況など会員に向け年2回程度会報を発行し発送を行っています。現在12号発行済み



まち歩き風景



米蔵での舞踏公演 蔵のステージ



米蔵での舞踏公演 野外ステージ

## 【活動上の課題と今後の展望】

まだまだ活動を支えるマンパワーや活動の資金が潤沢とはいえないのが現実です。活動は多岐に渡り、実際に動けるメンバー(世話人)は限りがありません。行政の助成金制度も活用していますが、事業後の決済など市民団体的には厳しい条件もあります。その反面市民団体として、歴史的建造物や歴史的町並みを守り魅力を伝える活動に対して多くの市民から認知されはじめている事も現実です。近年は行政から意見を求められたり、協力を求められたりすることも増えました。活動を続けるメンバー(世話人)の志気が持続できるようにするには、経済的な裏付けと、個人の負担が大きくならないような人材確保が今後の課題となります。